

# 渡部市政 守りから積極姿勢へ

## 一般会計予算案 617 億円 合併後最高額

現在開催中（～3/24）の市議会 2 月定例会で示された平成 26 年度予算案は一般会計が前年当初予算比 33 億 1 千万円増（5.7%）の 617 億 1 千万円、特別会計・企業会計を合わせた総額は、前年度比 55 億 4 千万円増（4.8%）の 1,211 億 5 千万円となっております。景気の持ち直しが見られ又財政調整基金に余裕が生じてきたこともあって、普通建設事業費を大幅に増加させる等積極姿勢に転じたことがうかがえます。示された優先施策と特徴的な予算案は下記の通りです。

	千円
1. 安全・安心のための防災・減災対策	
・災害用マンホールトイレの整備	65,000
・福田東地区に津波避難タワー	72,304
2. 産業の活性化対策	
・新東名磐田スマート IC 設置推進	233,067
・食の拠点福田港に避難ターミナル兼風力発電施設	249,748
3. 将来を担う子ども達への支援	
・小中学生時間外診療医療費助成(自己負担 500 円)	4,600
・生活保護世帯の子どもへの学習支援	9,603
・子ども憲章の制定	401
4. 地域福祉・支え合いの推進	
・障害者福祉施設への通所費用の助成	9,480
・認知症グループホーム等の整備(3ヶ所)	155,400
5. 公共施設の見直し	
・コミュニティ消防センターの建設	233,410
・豊田東地区へのコミュニティセンターの建設	226,899
・市民文化会館等の整備方針を検討	256
6. 合併 10 周年に向けた環境づくり	
・原付オリジナルナンバープレートの作成	900
・新たな地区活動拠点施設への一元化推進	7,224
・道路照明灯・公園照明灯の LED 化	57,868
7. その他	
・ジュビロ磐田 J1 復帰への支援	17,075
・いわたエコパークの整備	83,769
・安久路調整池グラウンドの整備	47,500



マンホールトイレ  
I プラザ設置例



福田港 どんぶりや・アンテナショップから  
ふくっぽをのぞむ



ひょうたん池側から見た安久路調整池  
(ひょうたん池トイレ課題解消へ)



JR 新駅予定地から南へ延びる道路  
いずれは大立野幹線とつながる計画

○ 東部地区関係事業	
□ 区画整理・JR 新駅関係	
・新貝土地区画整理支援事業	53,500
・鎌田第一土地区画整理支援事業	140,600
・JR 新駅設置事業	44,506
□ 大立野福田幹線改良事業	45,000
□ 高木蛭池幹線改良事業	117,000
○ 消費税引き上げに関連しての給付金	
低所得者向け臨時福祉給付金	300,000 (対象者 12,000 人)
子育て世代向け臨時特例給付金	240,000 ( " 24,000 人)